



医療法人伯鳳会 大阪中央病院

OSAKA
CENTRAL
HOSPITAL

HAKUHOKAI GROUP

Always With You
みなさまとともに。みなさまのもとに。

「虹」

Vol.25

2026. 6月

特集

入院生活と医療安全

守らないといけない約束はあるけど
みんなが全力でサポートしてくれるさ！
医療安全も含めてね

気ままな僕に
入院生活ができるかな？



疑問・解決！

医療安全を徹底し 誰もが安心して受診できる病院を目指して (医療安全管理室)

疑問① 医療安全てなに？ 医療にリスクはつきものなのでは？

治療や検査で避けられない副作用はあります。

医療安全はこれらではなく、治療や検査までの事務的なミスと治療や検査中および検査後の対応で発生するリスクをなくす行動です。

疑問② どこがやっているの？

病院長のリーダーシップのもとで、「医療安全管理室」が中心となって行っています。医療安全管理者の定期的な院内巡視や、各部署へのリスクマネージャー配置で医療ミスを防ぐ行動をしています。

疑問③ どんなことをやっているの？

手術や処置の際には、リスクを抑えるためにさまざまな安全対策を行っています。医療ミスを防ぐためには、チーム全員での確認作業が大切です。手術前には関連するすべての医療スタッフが集まり、患者様の情報や手術内容の再確認が行われます。また、手術室には最新の機器を導入し、手術中のモニタリングを強化しています。もちろん手術後も 24 時間体制で専門スタッフが見守ります。

疑問④ なら大阪中央病院は安心ね！

さらに地域の病院と相互に訪問し合って互いの医療安全対策を評価し合う取り組みや、グループ病院と Web 会議で安全対策に関する情報交換も行っています。また、年 2 回以上職員研修会を企画して安全意識の向上に務めています。



病院長：弓場

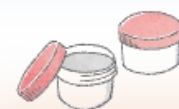
これからも大阪中央病院は、安全で質の高い医療を提供できるよう、医療事故防止に向けた体制を強化してまいります。皆様が安心して受診できる環境作りに、引き続き全力で取り組んでまいります。

安心して入院生活を送っていただけるよう、

私たちが心を込めてケアします

10 階病棟は、整形外科・泌尿器科・眼科・耳鼻科を担当する 48 床の混合病棟です。整形外科ではロボティックアーム（Mako）を用いた人工関節の手術、泌尿器科では手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」による前立腺の手術など、先進的な医療を行っています。

看護師と看護補助者が協力し、医師やリハビリスタッフ、薬剤師など多職種と連携しながら、患者さま一人ひとりに寄り添った温かい看護を心がけています。明るく穏やかな雰囲気の中で、安心して治療に臨み、笑顔で退院の日を迎えられるよう、スタッフ全員が思いやりの心を大切に日々のケアにあたっています。これからも患者さまやご家族に信頼される病棟を目指してまいります。



11 階病棟は、循環器内科・内科・消化器内科・肛門外科を担当する 48 床の混合病棟です。循環器内科は、心臓カテーテルやアブレーション、LDL アフエリス治療を中心に、心不全など高齢患者の看護を行っています。内科では医師・薬剤師・栄養士など多職種と連携し、糖尿病患者へ治療・指導を実施しています。消化器内科は下部内視鏡やクローン病などの炎症性腸疾患の治療、肛門外科は術前・術後の看護を提供しています。平均入院期間が約 3.5 日と短期間であるという特徴があります。退院後の療養生活が継続できるようにカンファレンスを開催し、ご本人さまやご家族の意向に沿った支援を頑張っています。緊急入院時も多いですが、スタッフ間で協力し合っています。

12 階病棟は、消化器外科・乳腺外科・肛門外科・婦人科・形成外科を担当する 47 床の混合病棟です。主に手術を目的とした入院が多く、入院手術に対する不安の軽減や痛みの緩和に努めています。

入院される患者さまは 10 代から 90 代まで幅広い年齢層で、「親切・丁寧」「医療者同士の連携がよい」「質問にすぐ答えてくれて安心できた」といった声を多くいただき、私たちの励みになっています。

なかでも、肛門外科入院はひと月約 90 人前後と入院患者の約 6 割を占めます。

また、入院期間も平均 4 日前後と短いため、入院、手術、退院後の注意点を動画で説明し、質問にもタイムリーな対応を心がけています。

お尻のことなら私たちにお任せください！！

みなさまに安心して治療を受けていただけるよう、これからも丁寧に寄り添った看護を目指してまいります。



伯鳳会グループ 災害訓練を実施しました

令和7年11月、グループ合同の災害訓練を実施されました。

当日は、地震発生を想定し初動対応や安否確認、避難経路の確認など参加者一人ひとりが真剣に取り組み、実践を通じて課題や改善点を共有でき日頃の備えを改めて認識する機会となり、防災意識の向上につながる有意義な訓練となりました。

今後も安全で安心な環境づくりに努めてまいります。



編集後記

病院の大きな役割は入院治療です。医療安全に目を光らせながら、快適な生活ができるように努めてまいります。

法人・病院 PR の YouTube 動画が配信中

★「NMB48 小嶋花梨インタビュー」編で検索

<https://www.youtube.com/watch?v=YgTpU9hFe3Y>



病院レポート 「虹」

2026年6月発行 Vol.25

編集・発行

医療法人伯鳳会大阪中央病院

広報委員会

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-30

TEL 06-4795-5505 (代表)

FAX 06-4795-5544

◆地域連携・入退院支援センター

TEL 06-4795-5533 (直通)

FAX 06-4795-5535 (専用)



医療をつなぎ、未来をつなぐ。多くの命を救うために。



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



医療法人伯鳳会
大阪中央病院 接遇委員会



病院ホームページ



#青いハートがあふれる社会を



医療法人伯鳳会
大阪中央病院

HAKUHOKAI Osaka Central Hospital